医療費の改定について

令和6年6月1日

日頃より上川医療センターをご利用頂き、誠に有難うございます。

皆さんが医療機関を利用する際の医療費は、2年に1度、全国一律で国が決定しています。2024年はちょうどその改定が行われ、6月の診察から適用されるようになります。

今回の改定では、細々とした項目もあるのですが、特に大きく2つ変更点がありますので、それに関してお知らせいたします。

その一つに、「高血圧、脂質異常症、糖尿病」で通院している方々の診療に変更があります。これまで医師が立てていた療養計画（主に食事、運動、内服について）を、皆さんと一緒に考え、書面上で確認しながら、定期的に見直しをする方法に変更になります。これは、生活習慣と関連が深い疾患の療養について、皆さんに自発的に関わって頂くための改定となります。6月以降の初回の診察の際は、その療養計画書を皆さんと一緒に確認しながら作成し、その後は、定期的なそれを評価し、必要に応じて、療養計画書を変更します。作成した計画書はカルテ内に保管する必要がありますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

また、もう一つの大きな変更点は、「高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性心不全、慢性腎臓病、認知症」といった複数の多様な健康問題を抱えた患者さんに対して、医療面のみにとどまらず、必要に応じて介護福祉関係者とも連携しながら包括的に対応する診療が評価され、医療費にも反映されることになっております。

今回の改定に伴い、上記の変更に関係する皆さんの医療費が値上がりします。ただし、一部の例外はあるものの、毎月の医療費に検査費用も含まれる形に変更になりますので、採血などの検査をした月も支払い額は増えません。これは過剰な検査を抑制し、適切な診療が行われるようにするための改定です。

また、今回の医療費の改定は、全国に広がる物価の上昇などへの対応という側面もあります。皆さんの町の医療機関を維持していくためにも必要なことですので、どうかご理解、ご協力の程何卒重ねて宜しくお願い申し上げます。

上川医療センター 院長 平野嘉信